

精液検査(SQA-V)測定開始のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜わり厚くお礼申し上げます。
近年、国におきましては、不妊治療への支援が取り上げられております。
弊社は、これまでも精液検査につきまして非公式に取り組んでおりましたが、今回新しい精子特性分析機(SQA-V)を導入し、正式な精液検査の受託を開始致します。
ぜひご活用いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

謹白

記

- 受託開始日 令和3年1月12日（火）ご依頼分より
- 受託検査内容

検査項目	検査方法	報告様式	所要日数	材料
精液検査	光学密度法	裏面参照	1日	精液

※この検査は株式会社CIS熊本中央研究所にて行います。

※ご依頼の際には、事前にご連絡を頂きますようお願い申し上げます。
尚、不明な点は、担当営業までお問合せ下さい。

お問い合わせ
株式会社CIS熊本中央研究所
TEL(096)284-1381

～精液検査(SQA-V)報告書フォーム～

精液検査 (SQA-V) 分析報告書

受付番号 : _____ 検体受取時間 : _____ 時 分
 検査日 : _____ 年/ _____ 月/ _____ 日 検査開始時間 : _____ 時 分

<PATINT DATA : 患者様情報>

ID : _____ 生年月日 : _____ 年/ _____ 月/ _____ 日
 禁欲日数 : _____ 日 (最終射精からの日数)

<SAMPLE DATA : 検体情報>

ACCESSION# : 検体識別番号 _____
 COLLECTED : 検体採取時間 _____ 年/ _____ 月/ _____ 日 _____ 時 分
 RECEIVED : 検体受取日時 _____ 年/ _____ 月/ _____ 日 _____ 時 分
 TYPE : 検体のタイプ (新鮮・調整・凍結・精管切除後)
 VOLUME (mL) : 精液量 _____ mL (ミリリットル)
 WBC CONC. <=1M/mL(normal)・>1M/mL(abnormal) : 白血球 (正常・異常)
 pH : ペーハー値 : pH ()
 APPEARANCE (NORM・ABNORM) : 精液性状 (正常・異常)
 LIQUEFACTION (NORM・ABNORM) : 液化状況 (正常・異常)
 VISCOSITY (NORM・ABNORM) : 粘度 (正常・異常)

<TEST RESULTS : 検査結果 [WHO 第3版による下限値基準] >

CONC. (Sperm Concentration) : 精子濃度 _____ $\times 10^6/mL$ [20 $\times 10^6/mL$]
 MOTILITY : 運動率 _____ % [50%]
 PROGRESSIVE MOTILITY : 前進運動率
 RAPID <a> 速度が速く直進する精子 _____ % [25%]
 SLOW 速度が遅い又は直進性が不良な精子 _____ %
 NONPROG. <c> 頭部又は尾部の動きはあるが前進していない精子 _____ %
 IMMOT. <d> 非運動精子 _____ %
 *MORPH. NORM. FORMS : 正常形態率 _____ % [30%]

正常形態率は精子の運動性から解析により算出された推定値になります。

正常形態率が30%未満でも、PMSC<a>やSMIが高ければあまり心配は要りません。

MSC (Motile Sperm Concentration) : 運動精子濃度 _____ $\times 10^6/mL$
 PMSC (Progressive MSC) <a> : 高速前進運動精子濃度<a> _____ $\times 10^6/mL$
 PMSC (Progressive MSC) : 低速前進運動精子濃度 _____ $\times 10^6/mL$
 FSC (Functional Sperm Concentration) : 機能性精子濃度 _____ $\times 10^6/mL$
 VELOCITY : 平均精子速度 _____ mic/sec
 SMI (Sperm Motility Index) : 精子自動性指数 _____

<TOTALS PER EJACULATE : 1射精あたりの総精子数>

SPERM# : 総精子数 _____ (百万) MOTILE SPERM : 運動総精子数 _____ (百万)
 PROG. SPERM : 直進運動総精子数 _____ (百万) FUNC. SPERM : 機能性総精子数 _____ (百万)

1 mLの精液の中に存在する精子の数を精子濃度といい、その中で運動をしている精子の濃度をMSCと呼び、そのうち高速直進運動をしている精子の濃度はPMSC<a>と呼ばれ受精に最も深く関与しています。受精能力を判定するには運動精子濃度にスピードも考慮して数値化したSMIを判定に使うケースも増えていきます。その判定の基準は下記の通りです。

SQA-Vでの精子の判定基準

	SMI	PMSC<a> ($\times 10^6/mL$)	PMSC<a+b> ($\times 10^6/mL$)	FSC ($\times 10^6/mL$)
下限基準値	80	5	10	3

* WHO (世界保健機関) の調査では、精子の運動性や濃度は体調やストレス等により大きく変わることがあるので、今回虚弱に分類されてしまった方でも喫煙、飲酒、睡眠不足、ストレスなどを減らし再検査を受けることで正常値を得られることもあるので、あまり心配せずに体調管理を心がけて再検査を受けることをお勧めします。